

2022 年度 消費情報環境法学科

小 論 文

〔自己推薦 A O (A)〕 14-02

注 意

1. 監督者の合図があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙のきめられた箇所に記入してください。

以下の新聞記事からの文章を読み、下記の問 1 および問 2 に答えなさい。

AI 兵器：殺人 AI 兵器、世界初使用か 昨春、内戦下のリビア トルコ製無人機、国連報告書

人工知能（AI）を持ち、人間の意思を介在させずに敵を自動的に攻撃する「殺人口ロボット兵器」が昨年春、内戦下のリビアで実戦に使用されたとみられることが国連安全保障理事会の専門家パネルの報告書で22日分かった。トルコ製の小型無人機で、兵士らを自動的に追尾、攻撃した。死傷者など被害が出たかどうかは不明。

「自律型致死兵器システム（LAWS）」と呼ばれる殺人口ロボット兵器の実戦投入が確認されたのは世界初とみられる。倫理面からの批判は必至で、国際的な規制を求める声が強まりそうだ。

報告書はリビア北部で墜落した無人機の残骸の写真を掲載しており、パネルは回収した残骸を分析したもようだが、情報元の機密指定などを理由に詳細を明らかにしていない。

AI 兵器に詳しい京都産業大の岩本誠吾教授は「比較的簡易な構造だが、自律型の攻撃ドローンだろう。人を追尾し攻撃したとすれば、世界初のケースで一線を越えたといえる」とした。

無人機による攻撃は、米国がアフガニスタンやパキスタンでテロリスト殺害に用いた例があるが、いずれも地上の操縦員による遠隔操作。今回の無人機は AI による識別機能を備え、操縦者の指令なしで目標を認識、攻撃したという。

報告書によると、無人機はトルコの軍事企業 STM が開発した「Kargu-2」で、4 個の回転翼で飛行し爆弾などを搭載。昨年 3 月に始まった暫定政権の作戦で使用され、軍事組織「リビア国民軍（LNA）」の兵士や輸送車両を追尾、攻撃した。パネルのメンバーで、対外担当のアリア・アウン氏は共同通信の取材に「取り決めにより何も答えられない」とした。

リビア内戦ではトルコが後押しする暫定政権と、ロシアなどが支援する LNA が対立。各勢力が無人機などを持ち込み新型兵器の実験場になっているといわれる。

リビアは武器禁輸などの国連制裁対象。軍事や金融などの専門家 6 人で構成する専門家パネルが履行状況を調べ、報告書をまとめている。【共同】

問1 殺人兵器に人工知能（AI）を搭載することに関して，その理由とともにあなたの考えを述べなさい。

問2 人工知能（AI）の兵器への応用を規制するとしたら，どのような政策や法が適切であるか，理由とともにあなたの考えを述べなさい。